2026 年 11 月 26 日
ＳＯＭＰＯリスクマネジメント株式会社

変わる危機管理広報の現場 相次ぐ情報漏えいにどう対処？ 新興メディア台頭への備えは？
企業の信頼・価値を守る実践セミナー／記者会見トレーニングを 12 月・1 月に連続開催

～記者の「生々しい視点」と「会見の極意」を直接お伝えします～

ＳＯＭＰＯリスクマネジメント株式会社（代表取締役社長：中村　孝久、以下「ＳＯＭＰＯリスク」）は、企業の有事広報対応力向上にお役立ていただくことを目的として「お昼の危機管理広報サロン」および「緊急記者会見メディアトレーニング体験版（集合研修）」を、12 月・1 月にそれぞれ開催いたします。

１．開催の背景と目的

近年、危機管理広報をめぐる環境は大きな変化をみせています。情報漏えいを伴うサイバー攻撃では、これまで実施は稀とされていた謝罪会見の開催が目立つようになりました。後を絶たない企業の不祥事をめぐる報道では新興メディアが影響力を増し、存在感を高めています。こうした変化の中で、企業はどのように説明責任を果たすことが有効なのか。それは企業存続を左右する極めて重要な要素です。

また、企業の対外公表や謝罪対応に対する世間の目はかつてないほど厳しく、複雑化しています。ＳＯＭＰＯリスクでも企業・自治体から各種危機管理広報の相談が増えており、会見や対外公表における報道側の厳しい追及に対し、誠実かつ正確な情報開示を行うための「報道対応の基本ルール」や「記者視点」を求める声が上がっています。企業が直面するレジリエンス（危機を乗り越える力）を高め、有事における「守り」の体制構築に貢献できるよう、以下の 2 つのアプローチから危機管理広報能力を強化するセミナー・研修を開催します。

（１）【2026 年 12 月 16 日（水）】　サロン形式セミナー
ランチを食べながらカジュアルな雰囲気で。元朝日新聞記者を講師に迎え「記者視点」を学ぶ
危機管理広報セミナー

（２）【2027 年 1 月 15 日（金）】　集合型 1 日研修
座学研修からプレスリリースなどの会見資料作成、模擬記者会見まで 1 日で一気通貫に体感する
「超・実践型メディアトレーニング体験版」

２．各プログラムの概要および得られることのポイント

（１）【お昼の危機管理広報サロン】

～ 元朝日新聞記者が考える記者会見の「新ルール」新興メディアとの向き合い方 ～

ランチ（お弁当付き）を召し上がりながら、リラックスした雰囲気の中で有識者から最新の危機管理広報対応を学ぶセミナーです。ゲスト講師に、長年数々の不祥事や不正会見を取材してきた元朝日新聞経済部記者の加藤裕則氏を迎え、近年の謝罪会見のリアルな実態や、増加するネットメディア・フリージャーナリストへの適切な対応方法について、プロの視点からわかりやすく解説していただきます。あわせて昨今のマスコミ事情を熟知する記者の取材現場のリアルも語っていただきます。

講演内容と講師プロフィール



元朝日新聞　経済部記者・ジャーナリスト　加藤裕則 氏

１９８９年４月に朝日新聞社に記者職で入社。２０２４年１２月に退社するまで３５年間で１５回転勤を経験した。東京（４回）、大阪、名古屋、福岡では経済記者を経験しており、フリーに転向後も精力的に企業の謝罪会見を取材している。近年の会見で増えているネットメディアやフリージャーナリストとどのように向き合うべきか、講義で解説する。

【得られることの３つのポイント】

①ネット・新興メディア対応の「新ルール」がわかる

- 近年、謝罪会見の現場で発言力を増しているネットメディアやフリージャーナリストへの質問の傾向、企業が陥りやすい失敗パターン、適切な向き合い方の基本が理解できます。

②元新聞記者の「生々しい記者目線」を理解できる

- ＳＯＭＰＯリスクコンサルタント陣による、最新の記者会見事例解説の他、長年にわたり企業の記者会見を取材してきた元記者だからこそ語れる、「記者は会見のどこを見て、どのような姿勢を求めているのか」という報道の本質的な視点が身につきます。

③お昼にランチを食べながら、他社の広報担当者と悩みを共有できる

- サロン形式のため、気軽な雰囲気で疑問をぶつけることができ、講義後の交流会を通じて講師や他社との情報交換や人脈づくりが可能です。

（２）【「情報漏えい」がテーマ　緊急記者会見メディアトレーニング体験版～1 日完結型集合研修】

「頭での理解」を「体感」へと落とし込む、１日完結の実践型プログラムです。ＳＯＭＰＯリスクの危機管理広報コンサルタント陣が、報道側のリアルな視点に基づき、広報担当者や経営層に求められる「有事の広報対応」「危機管理広報」の極意を伝授します。ＳＯＭＰＯリスクでは一昨年から力を入れている「情報漏えいが発生した」というリアリティ要素のある架空シナリオをベースに、発表方針の決定、記者配布用プレスリリースの作成、想定問答集（Q&A）の作成、そしてカメラの前で行う記者会見を１日で一気通貫に体験できます。



（過去の記者会見訓練の様子）

【得られることの３つのポイント】

①本番さながらの「模擬記者会見」による圧倒的な臨場感を体験できます

- カメラや照明機材を前にした本番さながらの緊張感あふれる会場で、実際に記者役からの質問に答える演習を通じ、「謝罪会見の難しさ」や「説明対応能力」「登壇時の立ち振る舞いのコツ」を、身をもって体験できます。

②情報の整理から資料作成まで、「緊急広報の一連の流れ」が身につきます

- 会見の体験だけでなく、「何を発表し、何を非公表とするか」の情報整理や、実際に記者に配る各種資料の作り方や情報の検討を、一連の演習を通じて体系的に学べます。

③プロの講師陣が撮影した映像を使って個別に親身な指導を行います

- 終了後は公表対応の指摘の他、撮影した映像を用いた振り返りを実施。回答内容や所作・表情にいたるまで、その場ですぐに改善点をフィードバックします。

３．開催日時・場所・料金等の概要

（１）【お昼の危機管理広報サロン 概要】

- **日時：** 2026 年 12 月 16 日（水） 12:00～13:20 （11:30 開場、お食事タイム）
- **場所：** ＳＯＭＰＯリスクマネジメント株式会社 会議室
  （東京都新宿区西新宿 6 丁目 8-1 住友不動産新宿オークタワー28 階）
- **定員：** 先着 30 名様限定
- **受講料：** 5,000 円（税込・お弁当代込・請求書払い対応）
- **対象者：** 企業広報担当者、中小企業経営者、リスク管理・総務担当者　など

当日のタイムスケジュール

時間	プログラム内容
11:30	**開場、挨拶、お食事タイム**（皆さまでお弁当をいただきます）／ＳＯＭＰＯリスクコンサルタントによる近年の記者会見事例の解説
12:00	**講義開始（加藤 裕則 氏）**「元朝日新聞記者が考える記者会見の『新ルール』新興メディアとの向き合い方」
12:40	**質疑応答**（気になった質問に元記者がその場でお答えします）
12:50	**名刺交換、講師や参加者交流会、アンケート記入**
13:20	**終了**

（２）【緊急記者会見メディアトレーニング体験版 集合研修 概要】

- **日時：** 2027 年 1 月 15 日（金） 9:30～17:00 （9:00 受付開始）
- **場所：** 住友不動産新宿オークタワー会議室 （東京都新宿区西新宿 6 丁目 8-1）
- **定員：** 最大 10 名様限定（1 社 2 名様まで、最少催行 5 名）
- **受講料：** 55,000 円（税込）1 名分
- **対象者：** 記者会見で矢面に立つ可能性のある経営層・管理職・広報部門の方、会見をサポートする立場の

方、自社でのトレーニング導入を検討中の方　など

当日のタイムスケジュール

区分	時間（目安）	研修プログラム概要と予定内容
第 1 部	午前	**座学講義：謝罪会見に関する基礎知識**
第 2 部	午前～午後	**演習：記者会見の準備** ・シナリオ把握と公表方針の決定、情報峻別、各種会見資料作成演習
第 3 部	午後	**模擬記者会見（※全員が体験します）** ・参加者が実際に体験 ・終了後、撮影映像を用いた振り返りと講師からの講評

４．特別参加者特典（両イベント共通）

本イベント・研修へご参加いただいた皆さまへの特別な特典をご用意しております。

①「危機管理広報簡易チェックシート」の進呈

- ＳＯＭＰＯリスクコンサルタントが実際に使用しているチェックシートを差し上げます。



（危機管理広報チェックシートサンプル）　※画像は一部加工済み

②プロコンサルタントによる簡易個別相談（希望者のみ）

- 参加当日、元新聞記者等を含めたＳＯＭＰＯリスクのプロコンサルタント陣に、貴社が今抱えている広報対応のお悩みや危機管理体制について直接ご相談いただけます。

５．詳細・申込み

下記の「詳細・お申込みはこちら」よりお申込みください。

（１）2026 年 12 月 16 日（水）　**【お昼の危機管理広報サロン】**

詳細・お申込みはこちら

（２）2027 年 1 月 15 日（金）　**【緊急記者会見メディアトレーニング体験版 集合研修】**

詳細・お申込みはこちら

■　ＳＯＭＰＯリスクマネジメントについて

大手損害保険会社「損害保険ジャパン」を有し SOMPO グループに属する、リスクマネジメントコンサルティング会社。損害保険で得た膨大なリスク知見を基に、幅広い業種業態の各種リスクマネジメント・クライシスマネジメント支援、企業のサイバーセキュリティ対策支援を実施。本セミナー・研修企画実施のクライシスコミュニケーショングループでは、新聞記者、テレビ局、企業広報出身のコンサルタントらで構成され、豊富なマスコミ対応視点や知見を基に、全国の企業・団体・自治体の有事広報や危機管理広報対応支援を行っています。

■　本セミナーへの取材について

媒体社・報道機関の方からの取材も承っております。ご希望の方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。講師やＳＯＭＰＯリスクコンサルタントへの個別取材、近年の記者会見や危機管理広報対応に関する見解についてのお問い合わせも承ります。

【本件に関するお問い合わせ先】
ＳＯＭＰＯリスクマネジメント株式会社
クライシスマネジメントコンサルティング部
クライシスコミュニケーショングループ
［担当：那須、鶴、宮下、久保、早坂］
TEL：03-6632-0894　（平日 9:00～17:00）
E-mail：crisis-communication@sompo-rc.co.jp
URL：https://www.sompo-rc.co.jp/